



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

自分の命は自分で守る

～11/2地震及び火災対応避難訓練～

今年度2回目の避難訓練を行いました。休み時間に地震が発生し、その後、理科室からの出火による火事が起こったという設定です。教師がいない場合に自分でどこを通過して、どこに避難すればよいか？を判断し、適切に行動できるようにするための避難訓練でした。



消防署の方のお話

Jアラートが流れ、訓練が始まりました。緊迫感が高まる中、避難が始まりました。大部分の児童は口を閉じて、しっかり避難ができていたと思います。点呼、報告の後で児童に2つのことを話しました。1つは、火災時に避難するときに守らなければならないこと「お・は・し・も」についてです。

お…おさない
は…はしらない
し…しゃべらない
も…もどらない

「守れたと思う人？」と尋ねてみました。大部分の児童の手が挙がりました。

もう1つは、「自分の命は自分で守る」ことについてです。このためには、自分で適切な判断をして行動することが必要です。日常から自分に直面する問題に対して、他人に頼らず自分で考え、どうすべきかを判断して行動することが大切です。

次に消防署の方からご講評をいただきました。「お・は・し・も」を守って、避難できていたと評価していただきました。

避難訓練終了後、4・5・6年は救助袋を使っての避難を体験しました。全員が3階から地面に向かって垂直に下ろした救助袋の中を、らせん状に滑り降りることができました。貴重な体験をすることができたと思います。



救助袋体験

しおかぜ集会のアンケート調査より

○子どもたちの発表の様子を見て、どう思われましたか？

満足 19人 やや満足 5人 やや不満 1人 不満 0人

おおおね好評価でした。一方で、「音声が聞き取りにくかった」「スクリーンが見えにくかった」「マスク無しで発表できるとよい」などのご感想・ご意見をいただきました。次年度に活かしてまいります。多くのご感想・ご意見をいただき、ありがとうございます。